

令和8年度 国立山口徳地青少年自然の家 教育事業

アドベンチャープログラム研修会

令和8年6月6日(土)～7日(日) 1泊2日

【目的】

徳地アドベンチャー教育プログラム(以下「TAP」)を中心とした体験を通して、その教育効果を体感するとともに、理念や手法について理解する機会を提供することで、参加者の指導能力の向上に資する。

【参加者】16名

【プログラムの内容】

- 1日目 開講式・オリエンテーション、体験①「アイスブレイク等」、体験②「ローエレメント等」、体験③「イニシアティブ等」
2日目 体験④「ハイエLEMENT等」、ふりかえり・理論

体験①



お互いを知り合ったり、緊張をほぐしたりするアイスブレイクウォーミングアップ活動

体験②



自然の中で体験するグラウンドアクティビティイニシアティブやローエレメント、活動のふりかえり

体験③



室内アクティビティとチャレンジ方法の選択

体験④



個人やグループでチャレンジの方法を選択したハイエLEMENT

ふりかえり・理論



ふりかえり 理論に関する講義

【参加者の声】

- ・人数もちょうどよく、みんなの顔と名前を覚えて帰れそうです。自然に応援したりハイタッチしたり、本気で楽しいことが改めて分かりました。貴重な経験ありがとうございました。
- ・1泊2日とても盛沢山で、大変満足で充実した研修になりました。自分で体験してみないとわからないことがたくさんあると実感しました。以前からTAPを体験してみたかったのでうれしかったです。職場の仕事に活かしていきます。
- ・自分の施設にないアクティビティを体験できて学びが多くありました。実際に体験したアクティビティの設計を知りたいと思いました。たくさんの方々と交流ができてよかったです。
- ・ファシリテーターの興味を引く言葉遣い、立ち回り、表情等、学びの多い研修でした。参加者も個性的な人が多く、一緒に活動をして楽しかったです。

【課題】

- ・活動の意図開きを行いながら、進めると研修の充実につながると感じた。
- ・活動メインに行ったため、振り返りや意見交流の時間を十分にとることができなかった。
- ・本所がこれから取り組もうとしている先駆的な事業を進めるうえでも、県内の参加者を増やし、体験のみならず指導者側の立場で学べる研修につなげていき、普及に努めていきたい。

【成果】

- ・参加者参加者満足度では、全員が4段階評価の最高位4をつけており、高評価を得ることができた。
- ・研修会参加経験のある知人や上司の勧めではじめて参加した方も多く、県内外から様々な立場の参加者で活動を行うことができた。
- ・職場にもどって、体験から学んだことを日頃の業務に活かしたいという積極的、肯定的な意見が多く聞かれた。